

Q. 文化の取り組みには どのようなものがありますか?



大津市
秋の西教寺

昭和59年3月、関連会社「しがぎん経済文化センター (KEIBUN)」を設立。
当行と連携し、地域の経済活性化、文化振興を願って、さまざまな情報発信やイベントを開催。
おかげさまで今年で創立25周年を迎えました。

地域社会との共存共栄

25周年記念演奏会を開催



佐渡裕 (指揮) 兵庫芸術文化センター管弦楽団

創立25周年の記念事業として、「びわ湖 音楽の春 “GIFT” 2009」を、平成21年4月4日から6日まで3日間、びわ湖ホール (全館) で開催しました。

クラシック音楽をメインに、ジャズや日本の伝統芸能など、国内外のトップアーティストと、湖国ゆかりの俊英奏者の皆さまにご出演いただき20公演を企画。のべ8,500名のお客さまにご来場いただき、湖畔の美しい景色のもと、一流の音楽との触れ合いをお楽しみいただきました。



お客さま参加型イベントとして、毎年12月に「第九コンサート」を開催しています。

合唱の参加希望者は、県内を中心に広く一般募集し、夏から練習を重ね、その成果を披露。「歓喜の歌」に想いを込めて、湖国の歳末を華やかに彩ります。



KEIBUN文化講座で 生活に潤いを

地域の皆さまに余暇を利用して専門的な事柄を楽しく学んでいただくため、平成10年より「文化講座」を開催しています。毎年春と秋の2回にわたり、歴史や絵画、文学など10コースを用意。「知」と「心」の新境地を求めて、多くの方に受講いただいています。



文化講座受講生による作品展

KEIBUN文化講座一覧 (平成21年秋)

- 枕草子の世界
- 文学を通してみる近江の風景
- 万葉秀歌を読む
- 戦国武将に学ぶ
- 名画をめぐって—ルネサンス編
- 天武天皇を考古学する
- 写らないものを感じさせる写真
- 名作オペラへご招待
- 世界遺産にみるイスラム文明
- 初めての日本画

お問い合わせ先:しがぎん経済文化センター
電話 077-526-0005

情報誌の刊行

地元で最新の情報を提供するため、月刊経営情報誌「かけはし」(14,000部)や季刊文化情報誌「湖」(28,000部)を刊行、ホームページ(<http://www.keibun.co.jp>)でも発信しています。

「かけはし」では、頭取と地元企業のトップによる「かけはしTOP対談」や県内経済動向、アジア情報など、経済の最新情報や日々の経営に役立つノウハウを発信しています。



地元テレビ局の 経済情報番組を提供

平成17年4月から、びわ湖放送「滋賀経済NOW」を提供しています。

同番組は、「元気印」の湖国企業を紹介し、視聴者の皆さまに経営上のヒントをつかんでいただこうとの趣旨で制作・放映されています。



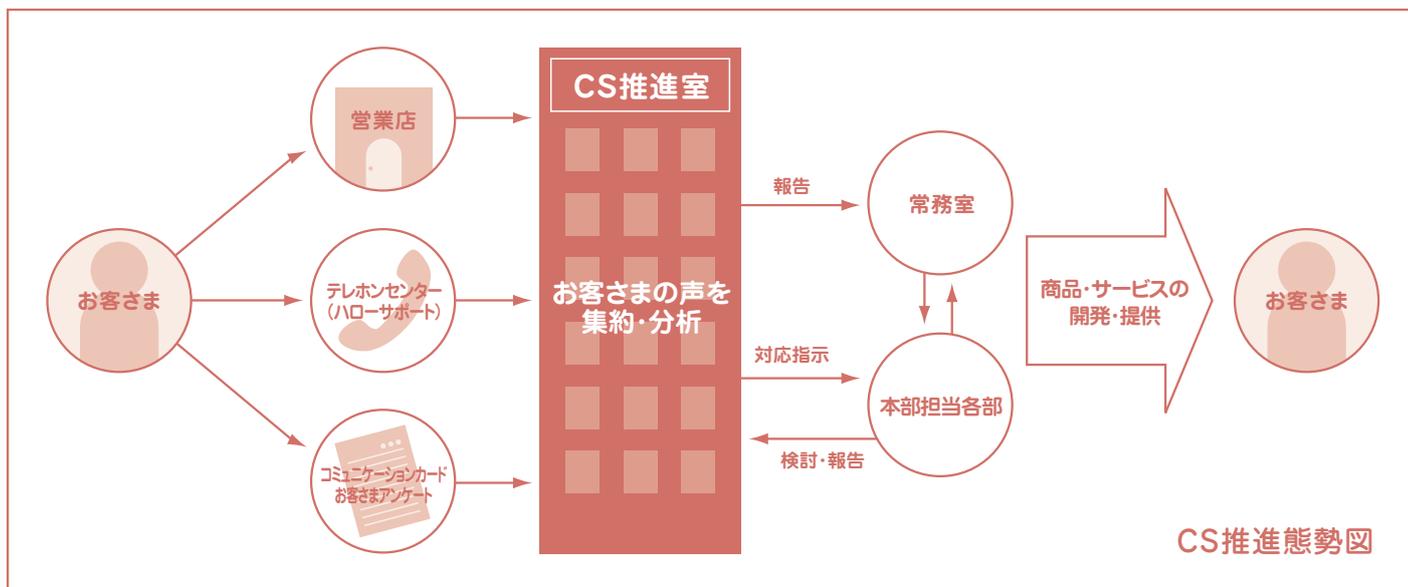
Q. お客さまの安心・満足のための 取り組みにはどのようなものがありますか？



CS推進の 取り組み

CS活動の取りまとめ部署として「CS推進室」を平成19年10月に設置し、同時に各部店に「CS推進リーダー」を設置しました。各部店では「CS推進アクションプログラム」を策定、「待ち時間の短縮」等の目標を設定し、実行・評価・改善のサイクルにより、継続的かつ効率的なCS向上の取り組みを実施しています。

統轄部署であるCS推進室では、各部店の取り組みの進捗管理と改善指導を行い、好取組事例の共有化を図ることで、しがぎんグループ全体で「お客さま満足度の向上」に取り組んでいます。



CS推進態勢図

階層別CS講演会 (店長席・役席・CS推進リーダー・パートタイマー) を実施し、意識啓発を行うとともに、「お客さまアンケート」や店頭での「コミュニケーションカード」を活用し、お客さまの声を商品やサービスの開発・改善に反映させています。



お客さまの声

店舗のバリアフリー化

店舗入口にスロープや手すりを設置して、車椅子の方や足の不自由な方にも利用していただきやすい店舗づくりを進めています。

駐車場の整備

お客さまからご要望をいただくことが多い駐車場については、身体障がい者用優先駐車スペースの確保や、警備員を配置する等、順次対策を講じています。

コミュニケーション支援ボード・杖ホルダーの導入

耳の不自由な方や外国人のお客さまなど、言葉や文字によるコミュニケーションに不安のあるお客さまに、イラストや数字を指し示していただくことで、円滑なコミュニケーションが可能となる「コミュニケーション支援ボード」を設置するとともに、杖をお持ちのお客さまが窓口や記帳台で杖を掛けられるよう、「杖ホルダー」を設置しています。



しがぎん
VOICE

CS推進リーダーの声



栗東支店 古川 真弓

CSの取り組みの中で一番難しいと感じたことは、支店全員への活動目標の周知や認識の統一を図ることです。当店では「CSレポート※」を活用し、月一回「CSだより」としての回覧や、具体的に数字で表せるものを目標としたことで全員が目標意識を持って取り組むことができました。

お客さまからは「活気が出てきて気持ちいい!!」というお言葉もいただき、とてもやりがいを感じています。これを励みに今後も更にお客さまにご満足いただける支店をめざし“みんなの力”をひとつにしてCSへの取り組みを進めてまいります。

※栗東支店が独自で作成しているレポート。朝礼当番がCSの取り組みについて自己評価をチェックし、感想等を記入している。



高崎市
漢流釣り場とバーベキューハウス



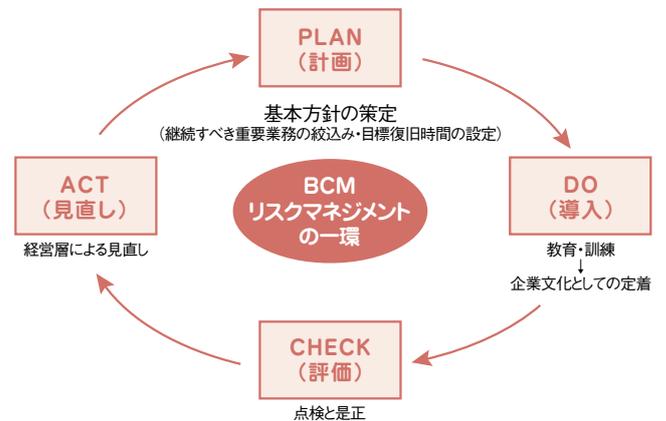
木之本町
鶴足寺の紅葉



災害時の事業継続計画

台風や地震などの自然災害の被害や、今年発生した新型インフルエンザの流行は企業経営に直接・間接的に大きな影響を及ぼしています。

当行では、平成19年3月に「事業継続計画（BCP）」を策定、継続的に見直し、危機発生時に円滑に業務を継続する体制を構築しています。また、BCPはあくまでも計画であり、いかに行内に浸透させ、戦略的に活用するかという「マネジメントの視点」（＝BCM）について、「BCP委員会」を中心に、訓練の実施や役職員の教育等を積み重ね体制を整備しています。



地域社会との共存共栄

新型インフルエンザに対しては、平成21年5月に国内で感染者が発生したことから、本部内に危機対策本部を設置し、インフルエンザの感染拡大防止に向けた取り組みを行いました。



災害への備えをサポート BCPサポートローン

「BCPサポートローン」は、災害に備えたBCPの普及を目的とした商品（平成18年8月取扱開始）。BCPをすでに策定されている、または関連会社しがぎん経済文化センターが提供する災害リスクコンサルティングを受けた事業者の皆さまを対象に、耐震補強やシステム機器の購入等の災害対策に必要な資金を、通常金利より0.3%差引かせていただくものです。



を踏まえた具体的な取り組み

ロビーアドバイザーの増員

窓口でお待たせする時間を短縮するため、お手続き方法やATMの操作方法等についてご案内する「ロビーアドバイザー」を随時増員しています。

手のひら静脈認証機能付ICキャッシュカード

お客様の財産を守り、安心して銀行をご利用いただくため、キャッシュカードの盗難・偽造防止対策として、「手のひら静脈認証機能付ICキャッシュカード」を発行しています。また全店に同カード対応のATMを設置しました。



コンサルティングサロンの設置

まわりを気にすることなく、ゆったりとした空間で落ち着いて資産運用についてご相談いただけるよう「コンサルティングサロン」等の相談コーナーの設置を進めています。



AEDの設置

平成20年1月～2月にかけて、出張所・代理店を含めたすべての営業店のATMコーナーと、本店ビルおよび当行関連施設140か所に「AED（自動体外式除細動器）」を設置しました。また、安全にAEDを使用できるように、本支店の担当者向けに講習会を実施しています。



ATM機能の充実

当行カードで24時間セブン銀行のATMにより入金・出金をしていただけるようになりました。セキュリティの面では当行の全ATMの操作画面に覗き見防止フィルムを貼り、また、「振り込め詐欺」被害防止のためATM画面上で注意喚起もしています。

ホームページをカラーバリアフリーに

ホームページのカラーバリアフリー（色覚障がいの方に配慮した色使い）を可能にするソフトウェア「UD color」を当行ホームページに導入し、色彩が識別しにくい部分を、色覚障がいの方の特性に応じて自動的に変換、ご覧いただきやすいように配慮しております。



Q. 役職員との共存共栄に向けて どのような職場づくりを進めていますか？

CSRの追求において、役職員一人ひとりがいきいきと働くことができる環境づくりは大切な取り組みです。当行は、一人ひとりの個性を最大限に発揮して働くことができる環境づくり、がんばれば認められる風土づくり、風通しの良い職場づくりに努めています。

一人ひとりの能力を最大限発揮できる公正な人事制度

がんばった人が報われる。それが当行の人事制度（人材育成・人材配置・評価体制）の特色です。個人の能力を「公平・透明・納得」を基本に、目標達成度合いだけでなく、そのプロセスも積極的に評価しています。

自らを磨こうとする“志”を応援「人材公募制度」

挑戦する意欲と、自分の適性を発揮し、希望する職種や部署へと異動できる「**人材公募制度**」を実施しています。対象業務は、本部の企画・システム開発・証券業務等専門性の高い分野への配属や海外拠点への派遣など、多岐にわたっています。

チャンスは誰にも平等 公平な研修制度

地域社会との共存共栄を実現するため、「知恵」と「親切」でお客さまの課題を解決できる人材育成をめざし、「新入行員研修」をはじめ「階層別研修」「職務別研修」など、さまざまな教育研修制度を設けています。

また、毎年全行員を対象に論文を募集し、選ばれた約15名を中国やヨーロッパへ派遣する、海外研修も実施しています。



行員一人ひとりが当行の環境マネジメントシステムをはじめ、CSR経営を正しく理解し、活動できるよう階層別に「CSR研修」も実施しています。

TOPICS

一人ひとりの「心」と「能力」を磨く道場 「しがぎん浜町研修センター」

平成20年12月に竣工した「しがぎん浜町研修センター」（P8参照）は、より実践に近い形で学べるように、模擬店舗室や端末機研修室、パソコン研修室など最先端の設備を完備。快適な環境下で宿泊研修も実施できます。

加えて、当行の歴史と伝統、滋賀銀行員としての魂を感じる場として「研修資料室」を創設。当行の原点である行是に込められた深遠な「心」を継承していくために積極的に活用しています。



前職で培った専門知識とノウハウを活かすキャリア採用

お客さまのニーズが多様化し、行員に求められる仕事が高制度化・複雑化する中、当行は平成17年からキャリア採用を開始。メガバンクや信託銀行、生命保険会社、損害保険会社などで経験を積んだキャリア採用者が、各職場のスペシャリストとして活躍しています。

「パートタイマーから嘱託」、 「嘱託から行員」への採用を開始 NEW!

当行は、「働く意欲のある非正規社員（パートタイマー、嘱託等）」を対象に、「一層のキャリアアップと活躍の機会を提供し、組織全体の活性化を図りたい」との思いから、非正規社員から行員（正社員）への採用を平成20年4月から実施。個人のスキルと意欲、ライフスタイルに応じた多様な選択を可能にしました。



平成20年度は、「パートタイマーから嘱託」への採用を6名、さらに「嘱託から行員」への採用を4名実施しました。

しがぎん
VOICE

「嘱託から行員」採用者の声



営業統轄部 有本 明美

現在所属する営業統轄部プライベートバンキングチームでは、営業店の資産運用提案に比べ、更に幅広い提案ができる金融商品と環境があり、自分の経験を活かすチャンスとして、行員採用試験にチャレンジしました。現在は、京都・山科・大阪エリアを担当し、金融商品仲介業務を中心に法人・個人先ともに資産運用提案を行っております。資産運用提案を通じて「知恵と親切」を実践することで、お客さまや支店行員の皆さんに喜んでいただけることに大変やりがいを感じています。



木之本町
琵琶湖八景
新雪：賤ヶ岳の大観



湖北町
イルミネーションフェスタ



しがぎんの従業員に関するデータ (嘱託・パートタイマー除く)

	平成20年度	
	男性	女性
採用者数(名)	55	135
従業員数(名)	1,381	933
総合職	1,092	120
事務職	11	248
その他	278	565
育児休業取得者数(名)	1	24
介護休業取得者数(名)	0	0
平均勤続年数(年)	16.8	9.1
高齢者再雇用者(名)		57
障害者雇用率(%)		1.992

「再雇用制度」の要件緩和

平成21年4月より、出産や育児、介護などで一度退職された方に、もう一度行員として働いていただくため「再雇用制度」の要件を緩和。「勤続3年以上、退職後10年以内」であれば、選考のうえ、退職時の職位・職級で雇用することとしました。

	改定前	改定後
退職事由	出産、育児、介護等	結婚、妊娠、出産、育児、介護、家庭の事情その他円満退職
退職時の条件	勤続年数5年以上	勤続年数3年以上
再雇用時の条件	退職後5年以内	退職後10年以内

高齢者再雇用制度

平成18年4月から、「改正高齢者雇用安定法」の施行に伴い、就労可能な健康状態であれば希望者全員を厚生年金(定額部分)の受給資格を取得するまで(最長満65歳)再雇用できるように改めました。

メンタルヘルスへの取り組み

役職員が心身ともに健康な社会生活が送れるよう、職場のメンタルヘルスケアに取り組んでいます。

管理職を対象に、産業医による「メンタルヘルス」をテーマとした研修を実施。定期健康診断時には、行内に設置している健康管理室の看護師が役職員一人ひとりと面談し、精神面のフォローを行うとともに、必要に応じて外部の専門家と連携を図っています。

セクシュアルハラスメント対策

平成19年4月「改正男女雇用機会均等法」が施行され、職場におけるセクシュアルハラスメント対策が義務化されました。当行では、女性を担当者とするセクハラ相談窓口「セクハラホットライン」を設置し、啓発ポスターを掲示、全役職員に対して研修を実施するなどの対策を講じています。



人権啓発への取り組み

一人ひとりの感性を高め、全役職員が生活や社会体験を通じて差別意識に気づき、人権感覚を磨くことを目的に、人権研修を実施しています。

人権研修のテーマ

平成20年度	ともに生きる社会をめざして ～原点を見つめて力強い前進～
平成21年度	さわやかに人権が語り合える職場づくりをめざして

TOPICS

「次世代育成支援対策推進法」の取り組み

「次世代育成支援対策推進法」に基づき、子育て支援に積極的に取り組んでいる企業として、滋賀労働局長の認定を受けています。

【第二期行動計画】

計画期間 平成20年4月～平成23年3月

概要

- ① 男性の育児休業取得者を1名以上とする
女性の育児休業取得率を80%以上にする
- ② 再雇用制度の要件を緩和する(上記参照)
- ③ 配偶者出産特別休暇制度を新設する(P29参照)
- ④ 半日年次有給休暇制度を新設する(P29参照)

※②③④は実施済みです。



しがぎん VOICE

育児休業取得者の声



膳所駅前支店 田村 由美子

第一子・第二子とも、出産後に約1年の育児休業を取得し、いずれの時も休業前の職場で同じ業務での復帰となりました。異動の際も通勤時間等を考慮していただき感謝しています。行内には仕事と育児の両立をされている目標となる先輩もたくさんいらっしゃいますので、私も魅力ある行員をめざして、ますますレベルアップに努めていきたいと思っています。

Q. 女性にとって働きやすい職場環境づくりに取り組んでいますか？

「女性活躍推進委員会」が活躍中

女性に積極的な活躍の機会を創り出し、女性の声を経営に反映させることを目的として、「女性活躍推進委員会」を平成18年12月に発足。女性の積極的な登用や職務開発、制度の充実や休職者へのフォローをはじめ、「女性が働きやすく、長く勤められる風土づくり」をめざして、各方面での環境整備を進めています。



TOPICS

女性活躍推進委員会メンバーによる、支店訪問がスタート

NEW!

「女性活躍推進委員会」の認知度向上と活動報告、情報収集などを目的に、平成21年5月から女性活躍推進委員会メンバーによる支店訪問を開始しました。

第1回は、職場の雰囲気や働きやすさ、子育て支援制度について意見交換を行い、若手行員からは「先輩の経験談や仕事に対する思いを聞くことができ良かった」などの声があがりました。今後も定期的に、各店を訪問する予定です。



積極的な「女性の登用」

現在、当行の女性管理職は135名、管理職に占める女性の比率は13%を超えます。また、今まで男性行員が中心であった外交役席ならびに融資役席への女性登用を積極的に行っていると同時に、5年前には36名だった女性の外交係も現在は58名に増加しています。

女性管理職者数の推移



NEW!

新しい時代の女性管理職を育成することをめざし、「キャリア・アップ講座」を新設しました。

これは、①若手女性のロールモデルとなる管理職を育成し、マネジメントできる女性を増やすことで、女性のキャリア形成を支援する、②女性行員同士のネットワークの構築により、情報の共有化を図り、モチベーションの維持向上につなげることを目的とするものです。

しがきん VOICE

女性活躍推進委員会メンバーの声

業務統轄部 大島 裕美

小委員会のメンバーは全員が女性で構成されており、「女性が働きやすい職場づくり」をめざして、諸制度の整備、経営への提言、セミナーの企画・運営などを行っています。

今後はますます働き方等の多様化が進む中で、「どうすればすべての役職員が仕事も家庭も充実させた日々を送れるのか」を最大のテーマとして、頑張っていきたいと思っています。



女性管理職の声

堅田駅前支店 山本 妙子

私が長男を出産した20年前は育児休業制度もない時代。その時、母が「これからは女性も働く時代、子どもは私がみてあげるから頑張りなさい」の一言で今まで頑張ってきました。今は母や家族に感謝しています。

支店長代理となつてからは責任ある立場に悩みも多いですが、「与えられた仕事を一生懸命やること」、「仕事は楽しくすること」をモットーに、良いチームワークづくりをめざしています。



TOPICS

「キャリア☆デザイン講座」を開催

平成20年2月より、女性自身がキャリアについて考える機会を設けようと、休日にセミナーを開催しています。

第2回(平成20年12月)は働き甲斐の見つけ方・作り方、人生を豊かにするためのキャリアの考え方などをテーマに「キャリア☆デザイン講座」を開催。後輩指導や部下指導などの内容を盛り込んだこともあり、男性の参加も20名近くにのびりました。女性の活躍

の場を広げるためには、男性も女性のキャリアを認識する必要があり、今後は男性管理職向けのセミナーも検討しています。





西浅井町
琵琶湖夕景(奥琵琶湖)



米原市
三島池



休職者への不安解消と復帰に向けたバックアップ

NEW!

育児休業は最長で子どもが1歳6か月まで取得でき、復帰に際してのブランクに不安を抱える人が少なくありません。このような不安を軽減するため、平成20年10月より、「**育児休業復帰前面談**」を開始しました。これは、職場復帰の1か月前に人事部の担当者と同面談し、子どもの世話の方法(実家に預ける、保育園に入園する等)、通勤方法、今後のキャリアの希望などを話し合い、職場へのスムーズな復帰を支援するものです。

「育休mamaセミナー」を開催

NEW!

出産後、ある程度精神的なゆとりができた女性を対象に、育児休業者向け懇談会「**育休mamaセミナー**」を平成21年6月にスタートさせました。

この懇談会は、当行の施策や銀行業務の変化などの情報を発信し、復帰までのブランクを埋めていただくために企画。子ども連れで参加できることから、育児休業取得中の方同士で育児に対する悩みなども相談しあうことができ、3か月に一度の頻度で開催するため、必要な時に何度でも参加できる体制を整えています。



TOPICS

役員との共存共栄

一人ひとりの人生と仕事のバランスを考えた制度の充実

NEW!

新しい制度として、平成20年10月に「**半日年次有給休暇制度**」と「**配偶者出産特別休暇制度**」がスタートしました。

「**半日年次有給休暇制度**」は、家族の学校行事や通院など短時間ですむ家庭の所用、地域行事への参加等に取得できる制度です。「非常に利用しやすい」と好評で、取得者は平成21年3月末までの半年間で約300名にのびりました。

「**配偶者出産特別休暇制度**」は、配偶者の出産時の付き添いなどのために、出産予定日の1か月前から出産後の1か月までの間に3日以内で利用できます。分割取得も可能なことから、半年間で8名の取得者ができています。

滋賀県では、「子育てしやすい職場」、「男女がともに働きやすい職場」など、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた職場環境づくりに積極的に取り組む企業を「**ワーク・ライフ・バランス推進企業**」として奨励支援しており、当行は平成20年3月に登録されています。

今後も、仕事や育児、介護などの両立を支援するため、諸制度の充実に取り組んでいきます。



〈今後の課題〉

- **女性が当たり前活躍できる風土の浸透**
⇒ マネジメント層向けや、女性向けのセミナー
制度の理解を促す仕組みづくり
- **女性のキャリア形成支援・積極的な登用**
⇒ 管理職への積極的な登用
職務・職域の拡大
- **ワーク・ライフ・バランスに関する諸制度の充実**
⇒ 育児や介護と仕事の両立が可能になるような制度づくり



女性活躍推進委員会は、今後も女性活躍の場の拡充に向けて、さまざまな活動を展開していきます。

しがぎん
VOICE

「配偶者出産特別休暇」 取得者の声

梅田支店 柳原 和範



「配偶者出産特別休暇」を取得し、出産の立会いや退院時の付き添いに利用しました。6時間にも及ぶ難産であったため、夫婦共々、喜びもひとしおでした。実際に出産に立ち会ったことにより、あらためて「命の誕生の尊さ」「父親としての責任の重さ」を実感し、現在は子育てに奮闘中です。

これからは職場の皆さんやお客さまに、仕事を通じて恩返しをしたいと思っています。



大津市
びわ湖パレイスキー場



湖北町
湖北町水鳥公園



倫理観の強い 行員の育成のために

心身ともに「クリーンバンクしがぎん」を実現するため、役職員の法令等遵守の徹底に全力をあげています。

全役職員に携帯用冊子「行動マニュアル」を配布して、法令や社会的規範を尊重した行動の徹底に努めるとともに、行内のイントラネットを活用して、融資・外交・事務などの職務担当者別、階層別に定期的に研修を実施。役職員のコンプライアンスマインドの高揚に取り組んでいます。



不祥事件防止ビデオの制作

当行では、不祥事件の防止を目的に、これまでに発生した事例等を題材とした独自の教育用ビデオを平成20年4月に制作し、コンプライアンスの徹底に努めています。



滋賀銀行の行動規範

1. 信頼の確保と社会的責任の遂行

銀行の公共的、社会的使命を十分に認識し、CSR（企業の社会的責任）を果たすことにより、揺るぎない信頼の確保に努めます。

2. 質の高い金融サービスの提供

お客さまに提供する商品・サービスについて、常に創意と工夫をこらし、社会の発展に貢献します。

3. 法令やルールの厳格な遵守

あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、誠実かつ公正な企業活動を遂行します。

4. 社会とのコミュニケーションの充実

経営情報等の積極的かつ公正な開示により、顧客、株主、地域社会等とのコミュニケーションを図り、透明な経営の確保に努めます。

5. 役職員の人権の尊重による働きがいのある職場づくり

役職員の人権と個性を尊重し、各人の能力を最大限に発揮できる活力ある職場づくりに努めます。

6. 環境経営の推進

省資源に努めるとともに、地域社会と連携して環境保全に貢献する「環境経営」を積極的に展開します。

7. 社会貢献活動の充実

郷土を愛し、社会とともに歩む「良き企業市民」として、文化や福祉活動等の多面的な社会貢献活動の充実に努めます。

8. 反社会的勢力の排除

健全な市民社会に脅威を与える反社会的勢力は断固排除します。

内部統制報告制度への対応

平成20年4月以降、金融商品取引法に基づく内部統制報告制度が適用開始となりました。当行グループでは、決算の信頼性を高めるために財務報告に係る内部統制の企画、統轄、評価を実施する専門部署として平成20年6月、経営管理部内に「内部統制グループ」を新設し、内部統制報告制度に対応しています。

内部統制システムの整備状況

会社法および会社法施行規則に基づき、内部統制システム構築に関する基本方針を取締役会において決議し、業務の適正を確保する体制の整備に努めています。

ホームページをご覧ください!

<http://www.shigagin.com/>

「しがぎん」からのお知らせ

「内部統制システム構築に関する基本方針」

個人情報保護

「個人情報の保護に関する法律」の施行（平成17年4月）に伴い、7項目からなる「個人情報保護方針」を制定するとともに、「個人情報の取り扱いについて」を公表し、個人情報を利用する際の「業務内容」「利用目的」などを行内外に明らかにしています。

ホームページをご覧ください!

<http://www.shigagin.com/>

お客さまサポート

顧客保護に関するお取り扱いについて

「個人情報保護方針」

「個人情報の取り扱いについて」

しがぎん VOICE

コンプライアンスオフィサーの声



国際部 大室 誠治

当部は外国為替（外為）業務の専門部署です。日常各支店担当者やお客さまから外為法令等について、さまざまなご照会やご相談が電話等で寄せられます。それに対し全員が外為業務のプロとして正確、迅速にアドバイスができること、さらにその前提として、滋賀銀行員としてお客さまから信頼していただける行員の育成に努めたいと考えています。



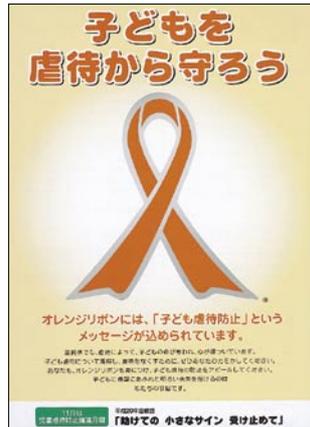
高島市
マキノプリンスホテル前
棧橋

オレンジリボン キャンペーンを展開

NEW!

子ども虐待防止の「オレンジリボンキャンペーン」の趣旨に賛同し、しがぎんグループで児童虐待防止の啓発活動に取り組みました。

これは、11月の児童虐待防止推進月間を中心に、オレンジリボンを「知る(理解)」、「考える(関心)」、「動く(参加)」ことにより、児童虐待防止につなげていくことを目的に実施したもので、期間中は役職員がオレンジリボンを身につけるとともに、お客さまにも配布。広く地域の方に知っていただく機会となりました。



募金ができる自動販売機 「ハートフルベンダー」を設置

平成21年8月、特定非営利活動法人ハートフル福祉募金の運営する自動販売機型募金箱「ハートフルベンダー」を、滋賀県内で初めて設置しました。

この自動販売機で飲料を買ったとき、飲料メーカーと自動販売機設置業者から、1本あたり2円ずつ、合計4円が「滋賀県共同募金会」に寄付される仕組みで、10円と100円の募金ボタンもあることから、購入者が直接寄付することもできます。

集めた募金は、滋賀県共同募金会を通じて、**高齢者福祉や教育支援、災害支援**などに活用されます。



「UNEP金融機関声明」の精神で活動

国連環境計画（UNEP）が提唱している「**環境と持続可能な発展に関する金融機関声明**」に市中銀行で初めて署名（平成13年10月）しています。

声明には、①環境破壊を予見し、回避するための予防的な取り組みを支援する ②エネルギーの節約、資源の再利用に努める ③環境保全を進める商品・サービスを開発する一など3分野17項目の環境目標が掲げられています。

当行では、「環境経営」を展開し、「金融機関声明」の精神の実現に努めています。

CDPへの参画

CDP（カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）は、欧米を中心とした機関投資家が連携して、気候変動への戦略や温室効果ガス排出量の公表を各国の企業に要請することで、企業の気候変動対策を促そうという国際的なプロジェクトです。

平成21年度は、金融機関475社が参加し、約3,700の企業に情報の開示を求めました。

当行もCDPに参画しており、活動の普及促進に貢献しています。



UNEP Finance Initiative
Innovative financing for sustainability

SRIファンドへの組み入れ

英国の新聞フィナンシャル・タイムズとロンドン証券取引所の合弁会社であるFTSE社の「FTSE4Good Global Index」の構成銘柄に6年連続で選ばれています。

「FTSE4Good」指数シリーズは、世界で最も注目されているSRI株価指数の1つで、環境・社会・人権など、世界的に認められた「企業の社会的責任基準」を満たした企業により構成されています。

また、投資信託情報などを提供するモーニングスター株式会社が組成・管理する「**モーニングスター社会的責任投資（SRI）株価指数**」の構成銘柄にも7年連続で選ばれています。



FTSE4Good



公益社団法人日本フランソロピー協会 理事長

高橋 陽子

たかはし・ようこ

1973年 津田塾大学学芸学部国際関係学科卒業。高校教師を経て、85年上智大学カウンセリング研究所専門カウンセラー養成課程修了、専門カウンセラーの認定を受ける。85年～91年関東学院中学・高校心理カウンセラーとして生徒、教師、父母のカウンセリングに従事。91年より日本フランソロピー協会。事務局長・常務理事を経て2001年より理事長。

「我が社のCSR」という言葉はよく聞きますが、「CSRのしがぎん」という表現に、CSR経営への覚悟と自負を感じます。その核になっているのが、1999年に打ち出した「クリーンバンクしがぎん」構想の具現化であり、昨年金融業界初の認定を受けた「エコ・ファースト企業」への進化でしょう。「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」と「事業者向け環境配慮型融資『未来の芽』」の取り扱いを開始するなど、常に“金融機関初の”という枕詞がつくほどの先駆的な取り組みに、次代を見据え時代をリードする、「環境を主軸としたCSR経営」がダイナミックに展開されていることを実感します。

来年には、生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が愛知・名古屋で開催されることが決定し、今年8月には「生物多様性民間参画ガイドライン」が環境省から発表されました。「事業活動と生物多様性との関わり(恵みと影響)を把握するよう努め、生物多様性に配慮した事業活動を行う」ことを挙げています。このように、企業に対し、新たなテーマへの取り組みに次々と期待が寄せられていますが、“しがぎん”では、早くから生物多様性保全・排出量取引・気候変動への取り組みに着手しておられます。トップメッセージにもありますように、さらに、新たな「環境価値創造」に向け、エコビジネスを生み出す牽引力としての期待もますます増大していますが、“エコをビジネスに”というキャッチフレーズが安易に横行し始めている今こそ、環境先進企業として、真の環境経営の範を示していただきたいと思います。

そうした中で、「地域社会・役職員・地球環境」との共存共栄の実現を担う主体は役職員です。また、これはそれぞれが有機的に絡み合いながら進化していくものです。地域社会への参加、役職員同士の横断的なコミュニケーションなどがもう少し明確に可視化できると、共存共栄にもっと厚みと広がりが出てくるのではないのでしょうか。そのために、レポートも報告としての機能に留めるのではなく、双方向のコミュニケーションツールとしての役割を持たせてはいかがでしょうか。職員同士の意見交換や、お客さまや取引先の人たちの感想や要望なども交え、それがさらなる議論を起し、新たな発想を生み出すチャンスにもつながると思います。

環境経営を柱にしたCSR経営は、役職員の誇り、地域の活力、地球の元気を創りだすための大いなるチャレンジに他ならないことを強く感じます。そのメッセージがさらに強く広く社会に届き、持続可能な社会の実現のために資する企業としてのますますの発展を期待しています。

編集後記

CSRレポートの発行も9回目を迎えました。制作にあたり、大切にしたいことは“しがぎん”らしさであり、地域の皆さまに楽しみながら読み進めていただける冊子をめざしました。

冒頭のトップメッセージにもありますように、私たちは「金融危機」と「地球温暖化」という2つの危機に直面しています。常に一步、二歩先の未来を見据えながら、ピンチをチャンスに変えて、本業である「金融」機能を活かした商品展開・サービスの提供により、地域の皆さまと歩みを進めていきたい、そのような思いで今後もCSR活動を展開してまいります。

皆さまの忌憚のないご意見、ご提案をお待ちしております。

総合企画部CSR室

- 2009 3 ……「第12回 環境コミュニケーション大賞」奨励賞受賞
- 2008 12 ……浜町研修センター「CASBEE」Sランクを取得
- 2008 12 ……平成20年度「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」受賞
- 2008 11 ……「ヨシ紙名刺」利用開始
- 2008 7 ……平成19年度「関西エコオフィス大賞」受賞
- 2008 7 ……環境省より「エコ・ファースト企業」に認定
- 2008 4 ……「BCAOアワード2007」大賞受賞
- 2008 2 ……「第12回新エネ大賞」新エネルギー財団会長賞受賞
- 2008 2 ……「第5回企業フィランソロピー大賞」受賞
- 2007 10 ……「第9回グリーン購入大賞」環境大臣賞受賞
- 2007 8 ……環境にやさしい「エコメール」を導入
- 2007 4 ……「CSR憲章」と「滋賀銀行の行動規範」制定
- 2007 1 ……平成18年度 財界「経営者賞」受賞
- 2006 12 ……「女性活躍推進委員会」スタート
- 2005 7 ……「エコスタイル」キャンペーン開始
- 2004 9 ……FTSE4Good Global Indexに選定
- 2004 6 ……「滋賀労働局長優良賞」受賞
- 2004 4 ……CSR委員会・CSR室設置
- 2004 4 ……「第13回地球環境大賞」フジサンケイグループ賞受賞
- 2004 3 ……第2回「誠実な企業」賞・金融機関部門賞受賞
- 2003 10 ……当行創立70周年記念事業として「びわこ地球市民の森」で植樹
- 2003 5 ……「第1回日本環境経営大賞」最優秀賞受賞
- 2003 2 ……「土壌汚染対策法」への当行取り組み指針を策定
- 2001 10 ……「UNEP金融機関声明」に、日本の市中銀行で初の署名
- 2000 6 ……ふれあい環境室設置
- 2000 3 ……「ISO14001」認証取得
- 1999 11 ……「クリーンバンクしがぎんスタートアップキャンペーン」開始
- 1999 10 ……環境委員会設置
- 1998 12 ……全店の焼却施設を撤去
- 1998 4 ……ノベルティグッズをグリーン購入品へ
- 1994 12 ……リサイクルシステム稼働
- 1988 9 ……水質調査船建造費として滋賀県に1億円寄付
- 1985 7 ……日本列島クリーン大作戦に参加
- 1984 8 ……社会福祉法人しがぎん福祉基金設立



発行／平成21年9月
 お問い合わせ／滋賀銀行 総合企画部CSR室
 〒520-8686 大津市浜町1番38号 電話077-521-2207
 ホームページアドレス／<http://www.shigagin.com>



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

